

株式会社 松屋 2018年1月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	1.3	-2.2
② 銀座店	1.4	-3.4
③ 浅草店	0.3	-0.3

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
銀座本店	-3.6	0.9	4.0	-2.3	-0.6	6.5	10.0	13.5	8.1	11.4	2.9	1.3
松屋銀座	-3.3	1.4	3.0	-2.4	-0.9	7.1	11.0	14.2	8.7	12.3	3.1	1.4
松屋浅草	-8.4	-5.0	16.5	-0.4	2.5	-1.3	-0.8	4.0	-0.9	1.8	0.5	0.3

3. 店舗別商況

銀座店	1月2日からスタートしたクリアランスセール of 婦人衣料品では、コート・ジャケット等防寒衣料の消化に併せ、セーター等の梅春物プロパー商材を並売展開しましたが、売上高は僅かに前年を下回りました。この1月は、大雪の影響(約1.5%程度)で入店客数が前年を僅かに下回ったことや、前年と会期のズレが生じた春節の売上影響(約1%程度)等の不利な営業条件はあったものの、食料品の弁当・惣菜等が堅調だったことに加え、引き続き、免税売上高において化粧品や腕時計の好調な売上が全体を牽引いたし、その結果、7ヵ月連続で前年を超えることが出来ました。
浅草店	化粧品・婦人雑貨の好調な売上が全体を牽引し、売上高は3ヵ月連続で前年を上回りました。

4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-4.3	-4.3
婦人服・洋品	-0.1	0.4
子供服・洋品	-10.7	-10.7
呉服寝具他	35.0	36.6
衣料品計	1.2	1.6
身廻り品	-3.3	-3.2
雑貨	11.9	10.7
家具	-18.8	-19.0
家電	-12.5	-13.7
家庭用品	4.3	4.3
家庭用品計	-6.1	-6.2
食料品	-2.3	-2.9
食堂・喫茶	2.9	2.9
サービス、その他	40.0	43.4
合計	1.3	1.4

商品別概況(銀座店)

*婦人服・洋品は、防寒衣料を中心にクリアランスセール開始以降、気候も加勢し好調に推移しましたが、売上高は僅かに前年を下回りました。

*雑貨は、化粧品を軸に売上を大幅に伸ばしました。

(特記事項)

*特記事項はございません。

*「2月売上速報」は、3/1(木)15時の開示を予定しております。